

高校の現場を訪ねて



東京都立戸山高等学校

東京都立戸山高等学校
進路部主任 岡本眞一郎教諭



「将来の予測が
つきにくい現代社
会において、生徒
たちが十年後、二
十年後にも社会のリーダーと
して活躍できるよう、自立心
を醸成する指導を心がけてい
ます」
そう語るのは、同校の進路
部主任・岡本眞一郎教諭だ。
その精神は課外活動指導に
も表れている。同校では多く
の場合、部活動計画などを生

徒が主体的に行い、顧問教諭
や生徒同士でコミュニケーション
を取りながら活動を進め
ることで、テストの点数だけ
では測り得ない個性や能力を
育んでいる。

■生徒が納得できる進学を

都内でも有数の進学校とし
て知られる同校は、難関国立
大学への進学者も少なくない。
いわゆる進学校中の進学
校なのだが、しかし、進学校
だからこの悩みも抱えてい
るのだと、岡本教諭は内情を

「そんな生徒の後押しをし
てあげることが、進路指導教
諭には求められるのではない
でしょうか」と、岡本教諭は
語る。

■第二志望校の進路相談会

11月19～22日の4日間にわ
たり、同校は『放課後併願校
リサーチ講座』と題する進路
相談会を実施した。この相談
会では、多くの生徒たちが第
二志望、第三志望とするよう

な大学の関係者を招聘し、そ
れら個別大学の学びや特徴、
入試制度などについて説明を
行ってもらった。

■将来を真剣に悩むために

進路選択において、岡本教
諭は戸山高校の生徒に対し
て、ある種の危うさを感じる
ことがあるという。

■生徒の自主性を育てる

東京メトロ副都心線「西早
稲田」駅から徒歩1分という
好立地に位置する東京都立戸
山高等学校(東京都新宿区)
は東京都指定の「進学指導重
点校」の一つで、都立高校全
体の牽引役としての役割も期
待されている。125年の
歴史を持つ伝統校である。
進学指導重点校とは言っ
ても、同校では生徒の主体性を
重視した教育を行っているた

生徒自身に考えさせる進路指導

明かす。

「進路選択において偏差値
が重要なファクターであるこ
とは否定できませんが、それ
のみを基準にしてしまうと、
生徒の意思を歪めてしまうこ
とがあります」

例えば、第一志望の大学に
惜しくも手が届かず、家庭の
経済的事情もあって、浪人し
て再受験をするかどうか迷っ
ている生徒が進路指導室に相
談しに来ることがある。だ
が、よく話を聞いてみると、
本当は第二志望の大学に進学
したいと思っていることが分
かってくるケースも少なくな

■第二志望校の進路相談会

11月19～22日の4日間にわ
たり、同校は『放課後併願校
リサーチ講座』と題する進路
相談会を実施した。この相談
会では、多くの生徒たちが第
二志望、第三志望とするよう

■将来を真剣に悩むために

進路選択において、岡本教
諭は戸山高校の生徒に対し
て、ある種の危うさを感じる
ことがあるという。

■入学試験を含め、本校の

生徒たちはこれまで目立って
失敗体験をほとんど持ってい
ないことが多く、ともすれば

「一人ひとりの生徒が、ど
うしたらベターな選択ができ
るのか」を大切な判断基準と
して、何よりも生徒自身が自
分の頭でよい将来を考え
られるように、日々進路指導
に携わる岡本教諭。その取り
組みの数々は取りも直さず生
徒の自立心を育てる一助とな
っているのだろう。

『求められる成績さえ満たせ
ば社会で成功できる』と考え
てしまいがちです」
だからこそ、同教諭は生徒
たちに「もっと悩んで欲し
い」と訴える。難関国立大学
を目指すとしても、さまざま
な進路の選択肢を提示して、
本当にその大学に行きたいと
思った上で志望する形が望ま
しいという。

「一人ひとりの生徒が、ど
うしたらベターな選択ができ
るのか」を大切な判断基準と
して、何よりも生徒自身が自
分の頭でよい将来を考え
られるように、日々進路指導
に携わる岡本教諭。その取り
組みの数々は取りも直さず生
徒の自立心を育てる一助とな
っているのだろう。

◆ 学校基本情報 ◆

所在地 〒162-0052 東京都新宿区戸山3-19-1

URL <http://www.toyama-h.metro.tokyo.jp/>

交通 東京メトロ副都心線「西早稲田」駅出口3より徒歩1分
JR「高田馬場」駅戸山口より徒歩12分

学校長 大野 弘

人数 男子510人、女子462人

